

コース内容 循環器内科

研修責任者

岡田 豊 （日本内科学会認定内科専門医、日本循環器学会循環器専門医）

指導医

岡田 豊 （日本内科学会認定内科専門医、日本循環器学会循環器専門医）

当院循環器科の専門教育における理念

循環器科専門医は、内科医としての基盤の上に積み上げられる専門職であり、カテーテル治療医は、内科医としての視点を見失ってはならない。

研修目標

内科医としての視点を常に意識しながら、侵襲的検査や治療を行える循環器専門医となることを目標とする。

研修内容

心臓病疾患の診察を指導医とともにに行い、打聴診等の理学所見を正しくとれるようにする。生理検査室に集まる心電図の診断は、後期研修医がすべてに行い、指導医のチェックを受ける。習熟の度合いにより免許皆伝となれば、指導医のチェックは不要となる。

心エコー検査、トレッドミル運動負荷 ECG は、1 年目は指導医と共に行い、2 年目以降は独立して検査を行えるようにする。

心筋シンチ、冠動脈 CT の読影を独立して行えるようにする。

病棟での基本手技（swan ganz catheter, temporary pacemaker, IABP 管理, ACLS など）は指導医のもとに学習し、独立して行えるようにする。

心臓カテーテル法は、femoral approach, radial approach ともに行えることを目標とする。習熟の度合いにより、PCI（stent 治療）を指導医とともに行う。

循環器関連学会等での発表を年 1 回を目標に行う。